



むかい

学校教育目標

- ・かしこく
- ・やさしく
- ・たくましく
- ・なかよく

新年おめでとうございます。本年もよろしく申し上げます。

校長

「一年の計は元旦にあり」と言いますが、一念発起して何かを始めようとした経験のある方は多いのではないのでしょうか。そして、決意を長続きできることもあれば、そうでないこともあります。私は、後者を何度も経験しているのですが、最近読んだ本に『三日坊主』も100回繰り返せば立派な習慣になると、脳科学者の茂木健一郎氏が書いていました。「長続きしなかったとしても、再び始めればいい。サボってしまって後悔したり、ダメな自分にごっかりしたりすることもある程度必要だが、行きすぎは自己肯定感を奪ってしまうので、あっけらかんとそのような自分を認めて、決意を再起動するくらいのおおらかさと柔軟さが必要だ」というのです。三日坊主になったとしても、何度でも再開しているうちに習慣になるかもしれないと思えば、挫折して計画倒れで終わるより、何倍もよさそうだと思います。

学校で、子供たちは、毎日、さまざまな新しいことを学び、新しい課題に挑戦しています。そして、今度はこれができるようになりたい、こうしたい、と新たな目標をもつこともたびたびあります。その時その時を、子供たちは真剣に思考し、前向きな気持ちで決意をしていますが、それが長続きするかというと、なかなか難しいものです。子供なので、自分の実力を客観視できないまま目標を立てることも多いため、大人以上に計画倒れということもあるでしょう。

3学期は、学年のまとめの学期です。子供たちは、また新たな目標を立て、早速今日から始めているかもしれません。その目標を立てた時は、真剣に「そうしたい!」と思っている、長続きしないかもしれません。周囲の大人は、「なんだ、もうやめてしまったのか」と叱ったり嘆いたりするのではなく、「また、明日から始めてみたら?」とおおらかに励ましてあげることが大事なかもしれません。

本校では、「個別最適な学び」の実現を目指しています。最終的には文部科学省の推進する「自由進度学習」という学習スタイルも取り入れて行きたいと考えています。この「個別最適な学び」を実現することで、学習に対する意欲・自己肯定感・自分を客観視する力（メタ認知）などを伸ばすことができると考えます。三日坊主になっても挫けず再開し、先生や親から指示されなくても自分で課題を見付け取り組める、そんな子供たちを育成していきたいと考えています。